

提出 20 年 5 月 31 日

## 会合議事録

研究会名：構造物性研究会

日 時：H20 年 3 月 24 日 18:00～20:00

場 所：大阪フローラルイン難波

出席者：北川宏（九州大学）、池田直（岡山大学）、高田昌樹（理研）、大隅寛幸（理研）、黒岩芳弘（広島大学）、西堀英治（名古屋大学）、青柳忍（名古屋大学）、澤博（P F）、野上由夫（岡山大学）、守友浩（筑波大学）、中尾裕則（東北大学）、東正樹（京都大学）

計 12 名

議題：構造物性研究会の新体制と実施計画について

- 1) 「ここまでの構造物性研究会」北川 宏（九大院理）
- 2) 「第二期構造物性新研究会の体制について」西堀 英治（名大院工）
- 3) 「新型単結晶カメラの関連作業について」大隅 寛幸（理研）
- 4) 「今後のスケジュールの概略」黒岩 芳弘（広大院理）
- 5) 「新型単結晶カメラに展開する科学」高田 昌樹（理研）

議事内容：

構造物性研究会が第二期体制に移行することを機に、今年度までのメンバーの研究進捗と放射光実験に期待する事柄についての議論を行った。西堀（名大）からは新体制についての説明と、最近の構造物性研究の潮流についてのコメントがあった。大隅（理研）と黒岩（広大）からはBL02B1に設置される新型単結晶カメラの実現性能と作業計画、ならびにこの装置がカバーする構造物性研究領域について説明があった。その後、放射光の特性（輝度、偏光、コヒーレンス（低エミッタンス）、時間構造）を生かしきる科学研究を遂行する装置や実験の提案の重要性について議論が行われた。

以 上